

(科目コード : 2001120003KK)

【改訂】第19版(2015-03-03)

【科目】倫理

【科目分類】 一般科目 【選択・必修の別】 必修 【学期・単位数】 通年・2単位

【対象学科・専攻】 物質 3年

【担当教員】 前期：齋藤 和義

後期：齋藤 和義

【授業目標】

「倫理」という科目は、一人ひとりが「よく生きること」について思考する科目であることを踏まえて、自己、社会、環境などについての現代の諸課題について理解を深めることができる。

現代人にも深く影響を与えてきている先哲の思想を学ぶことを通して、普段の日常ではあまり考えない哲学、宗教などのテーマについて興味・関心を持つことができる。

「倫理」で学んだことを使って、現代の諸課題についての自分の意見をまとめ、それを表現することができる。

資料としての先哲の書物やその解説書などを読み、それについて思索を深めたり、周囲の人たちと対話したりすることができる。

【教育方針・授業概要】

- ・本科目の総授業時間数は45時間である。
- ・授業では現代に生きる者としての立場から、現代社会で求められる倫理的な諸課題を分かりやすく伝え、君たちにも質問をしたいし、質問も求めたい。
- ・ノートは必ず用意し、またプリントをファイルしてほしい。
- ・前期の初めに自己・家族についての心理学的社会的な考察をし、その後、ギリシア思想、キリスト教、仏教など宗教を扱う。
- ・近代西洋の哲学をデカルト、カント、ヘーゲルなどの大陸系の哲学者の思想と社会契約説や功利主義などイギリス系の思想を扱う。
- ・現代思想として社会主義と実存主義を取り上げ、最後に現代の倫理的課題として生命倫理、環境倫理などグローバルな課題を扱う。

【教科書・教材・参考書等】

教材：『テオーリア 最新倫理資料集』：第一学習社

参考書：『哲学ってなんだ』：竹田青嗣：岩波ジュニア新書

参考書：『ヨーロッパ思想入門』：岩田靖夫：岩波ジュニア新書

その他、副教材としてプリントを適宜配布

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式で進める。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%、期末試験：40%、課題点(ノート、小論文など)：20%

[後期]中間試験：40%、期末試験：40%、課題点(ノート、小論文など)：20%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(倫理)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	イントロダクション	・倫理学習の目標と方法 ・授業の方針、道徳と倫理		
第2回～第5回	自己と他者(家族等)	・現代社会の特質、青年期の心理 ・自己、家族とは何か		
第6回～第7回	思想の源流()	・ギリシア思想～自然哲学、ソクラテス、プラトン、アリストテレス		
第8回	中間試験			
第9回～第13回	思想の源流()	・キリスト教～ユダヤ教、イエスの宣教 ・仏教	ノート提出	
第14回～第20回	西洋近代思想()	・合理論～デカルト ・認識論～カント ・道徳と法～ヘーゲル	読書ノート提出	
第21回～第22回	西洋近代思想()	・民主主義の思想～社会契約説 ・功利主義～ベンサム、ミル	小論文	
第23回	中間試験			
第24回～第26回	現代思想	・社会主義～マルクス ・実存主義～キルケゴール、ニーチェ		
第27回～第28回	現代の倫理的課題()	・生命技術と環境問題		
第29回～第30回	現代の倫理的課題()	・戦争と民族問題	ノート提出	